



大樹

岩田小 学校たより No.11

令和元年11月6日

学校教育目標

「笑顔いっぱい 夢いっぱい」

会礼(11/5) 校長講話

11月から新しいステージになりました。何ステージですか。「つぼみ」のステージですね。つぼみステージのめあては、「表現」です。「表現」とは「思いを表す」ことです。

みなさんはどんな場面で自分の思いを表現していますか。学校生活の中でも、毎日たくさんの場面で自分の思いを出しています。友達や先生との会話でも授業中の発表でも…。思いは見えないけれど、言葉にするとわかります。伝わります。もし、黙っていたとしても表情や行動でわかります。伝わります。つぼみステージでは、たくさんの思いを伝えていきましょう。

岩っ子は、一人一人が自分のよいところを発表して伝えています。では、皆さんに質問です。自分の学年のよいところは何ですか？

6年生は、先週、修学旅行に出かけました。その中で自分や友達の新しいよさを発見しました。例えば(写真を見せながら)初めて会う外国の方に進んで英語で話しかけ、質問をしました。ディビット先生のように知っている方ではなく、初めて会う外国の方に自分から声を掛けていくことができるのは、素晴らしいですね。雷おこし作り体験をしたときには、お店の方から「『〇〇さん』と友達を呼んでいるところがとてもいいですね」と褒められました。夕食はみんなでちゃんこ鍋料理を食べました。その会場で突然イベントが始まったのですが、自分から進んで参加する6年生がいました。一緒に修学旅行に行った添乗員さんやカメラマンさんは「岩田小の子供たちは、男女関係なく、全員が仲良しですね」と感心していました。



一人一人はもちろん、このように学年全体のよさが必ずあります。

では、6年生は、自分たちの学年(クラス)のよさは自分たちでは何だと思えますか。5年生は、自分たちの学年(クラス)のいいところはどこですか。4年生、自分たちの学年(クラス)のよさは何でしょうか。3年生は何度も話合いをしていましたね。自分たちの学年(クラス)のよさは何ですか。2年生は、自分たちのクラスのいいところはどこでしょう。1年生は、自分たちのクラスのいいところが言えますか。

今どの学年も大樹祭の準備を始めていますね。一人一人ではなく、学年みんなで「思いを表す」のが大樹祭です。大樹祭に向けて学年で力を合わせて準備していく中で、自分たちのよいところを発見していきましょう。本気で取り組んだときには、きっと今まで気付かなかったよさも見つかるはずです。2学期の最後には、みんなにも担任の先生にも、自分たちの学年のよいところを聞いてみたいと思います。

つぼみステージには、自分の、そして自分たちの思いが伝わるように表現して、もっともっと自分たちのよさを増やしていきましょう。

☆児童代表のスピーチ

- ・ぼくの良いところは二つあります。一つはなんでもあきらめないことです。例えば、夏休みに一輪車の練習をあきらめずにしました。もう一つは進んで挨拶をすることです。ぼくが進んで挨拶をすると、みんなが笑顔になって、自分もうれしくなります。これからもこの二つのことを続けていきたいです。 (1年 柴田 旭さん)

- ・ぼくの良いところは二つあります。一つは友達に優しくすることです。友達が困っているときに自分から「大丈夫？」と声を掛けます。もう一つは字が上手なことです。書き取りでは毎日花丸をもらっています。これからも丁寧な字を書いてたくさん花丸をもらえるようにがんばりたいです。 (2年 富田 光紀さん)

- ・ぼくの良いところは字を上手に書けることです。字を書くときに気を付けていることは、字の形をよく見ることです。これからも、字を上手に書きたいです。 (2年 中村 亮佑さん)

- ・ぼくの良いところは二つあります。一つは係の仕事をきちんとすることです。ぼくは体育係です。みんなを並ばせ、準備運動をしています。もう一つは一輪車です。今はアイドリングの練習をがんばっています。この二つをこれからも続けていきます。 (2年 松井 比呂さん)

- ・私の良いところは二つあります。一つは優しいことです。誰かが困っていたら「大丈夫？」と声を掛けます。もう一つは計算が早くできることです。2年生のときは計算が苦手でした。でもがんばればうまくできると思い続け何度も練習した結果、計算が得意になりました。これからも自分の良いところをたくさん見つけていきたいです。 (3年 石野 春旭さん)

- ・私の良いところは二つあります。一つは何でも手伝いをすることです。学校では本読みカードや書き取り帳を配る手伝いをしています。家では洗濯物や食器洗いをしています。手伝いが好きなのでこれからも続けたいです。もう一つは字を丁寧に書くことです。書き取りやノートに字を丁寧に書くと気持ちよくなります。字をきたなく書くと、「変だなあ、おかしいなあ」という気持ちになります。だから毎日丁寧な字で書いていきたいです。二つのことをこれからも大切にしていきたいです。 (3年 青島 そらさん)

- ・私の良いところは友達が泣いていたら「どうしたの？大丈夫？」と声を掛けたり、けがをしている友達を保健室に連れていったりすることです。もう一つは書き取りの字を丁寧に書くことです。急いで適当に書いてしまったら気持ちがすっきりしないので、丁寧な字を書くようにしています。これからも二つのことを続けていきたいです。 (3年 東 ひまりさん)

- ・私の良いところは字を丁寧に書くことです。書き取りや感想文などは特に気を付けます。字を丁寧に書くと心がすっきりするので、これからも字を丁寧に書きたいです。 (3年 神谷明彩日さん)

- ・ぼくは文字に興味があり、世界の文字がどのように生まれたか調べ、友達の前で発表しました。平仮名や片仮名は漢字から生まれたことが分かりました。ぼくは漢字の学習が好きです。毎日丁寧に練習しています。文字を書いたり漢字を覚えたりすることが得意になりました。学習した漢字はほとんど書けます。これからも漢字をたくさん覚えたいです。 (4年 両角 和樹さん)

- ・私が頑張っていることは、持久走大会に向けて朝運動場を走っていることです。持久走大会では5位以内に入ることを目標にしています。そのためには、練習が大切です。だから、毎日一周は走るようにしていますこれからも練習を続けて、持久走大会では5位以内に入れるように頑張りたいです。(4年 内山 恋夏さん)
- ・わたしが今頑張っていることは書き取りです。一年や三年のときは時間をかけて丁寧に書いていたけれど、最近は丁寧に速く書けるようになってきました。だからこれからも丁寧に速く書くことを意識して書くようにしたいです。(4年 佐々木蘭花さん)
- ・私の得意なことは水泳です。私は水泳を習っています。私ができるのは、クロールと背泳ぎです。先月のテストに合格し級が上がりました。テストに向けて一生けん命練習をしました。これからも目標に向かって努力します。(4年 堀内 咲希さん)



- ・ぼくの良いところは二つあります。一つはけんかを止められることです。友達がけんかをしそうになったときには、楽しい話をして場を和ませ、仲良くできる雰囲気を作っています。もう一つは進んで手伝いができることです。係や委員会の自分の仕事が終わっているときには、声を掛けて手伝うことができます。さらに自分の良いところが見つけられるようにしていきたいです。(5年 石野 俊宇さん)
- ・ぼくの良いところは二つあります。一つはみんなに優しくできることです。算数の問題で分からなくて困っていたら、優しく教えるようにしています。もう一つは苦手なことを好きになれるように頑張れるところです。ぼくは低学年のときは、走ることが苦手でした。しかし、たくさん練習しているうちに好きになり、走るのが速くなりました。これからも、好きだと思えることを増やしていきたいです。(5年 石黒 健太さん)



- ・私の良いところは人に優しくできることです。困っている人がいたら、自分から「どうしたの?」と声を掛けたり手伝えることを探してやったりしています。将来は、どんな子にも頼ってもらえるよう存在になりたいと思っています。しかし、同じ話すことでも、発表するときになると、なかなか話すことができません。間違っていたら、こわいという気持ちが高学年なるにしたがって大きくなったからです。でも、自分から話すことの大切さはわかっているので、なりたい自分になるために、発表のときでも進んで発表して、自分から声を掛けられる勇気が、今以上にもてるようにしたいと思っています。(6年 高木 美紅さん)
- ・私の良いところは家の手伝いをたくさんするようになったことです。皆さんの中にはそれは当たり前だと思う人がいるかもしれませんが、しかし、今までの私は、それをあまりしないで過ごしてきました。だから、手伝いをたくさんできるようになった自分自身に成長を感じています。例えば夏休み明けから自分だけでなく、父の朝ご飯も作るようになりました。また、風呂掃除も進んで行うようになりました。最近では、手伝いをするとほめられることも増え、やりがいと楽しさを感じています。だから、家の手伝いをすることをこれからも続けていこうと思います。(6年 永井 美咲さん)
- ・ぼくの良いところは保健委員会の当番活動を丁寧に行うことです。残食のチェックをする仕事は、クラスごとに何がどれくらい残っているのかを調べ記録します。活動開始時刻に遅れてしまったときには、残食の量と片付けた後の食器の片付けの様子を見て、良くないところは整え、給食の先生が見やすいようにしています。また、6時間目に委員会活動があるときには、トイレのトイレトペーパーの不足がないように、点検や補充をしています。これらの当番活動は目立たない仕事だけれど、みんなのために大切な仕事なので、これからも丁寧にすることを心掛けていきたいと思っています。(6年 鈴木 康太さん)

☆学力・学習状況調査の結果をお知らせします

4月に実施した全国学力・学習状況調査（6年生）について、本校児童の調査結果をお知らせします。本校は、国語、算数ともに、全国・県平均を上回っていることが分かりました。以下は、分析の結果です。

【国語の分析結果から】

- ・調べたことを報告する文章を書くときに、どんな工夫をすればよいかを考える問題、インタビューの様子の記事から話し手の意図を捉え、自分の考えをまとめる問題がよくできていました。
- ・同音異義語の熟語を文の中で正しく使って書くことや、目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことについては、やや課題が残りました。漢字については今後も文や文章の中で適切に活用することができるよう、学習の方法や練習の仕方を工夫し、繰り返し指導していきます。

【算数の分析結果から】

- ・図形の性質について考える問題や、グラフから資料の特徴や傾向を読み取る問題がよくできていました。
- ・割り算の式から、その式が何を表しているのかを読み取る問題や、例示された引き算の計算の仕方を解釈し、それを基に割り算に成り立つ性質を書く問題の正答率が低かったです。また、示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する問題も課題が残りました。解決の見通しをもち、筋道を立てて考えることができるよう、指導していきます。

【学習状況調査の分析結果から】 「とてもそう思う」の割合から

- 「人が困っているときには進んで助ける」「学校のきまりを守っている」と答える割合が多いです。他者を思いやる心や、規範意識が高いことがわかります。
- ▽「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する」「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と答える割合が少ないです。主体性や成功体験を味わわせることが今後の課題であることが分かりました。

☆学力向上に向けた改善策 ～調査の結果を受けて、本校の取組～

＜授業全般では＞

- ・授業の中で子どもたちが「学び合う」姿（対話活動等を通して考えを深める）や、「主体的に学ぶ」姿を大切にし、どの子も「分かる」「楽しい」授業づくりを目指します。

＜国語では＞

- ・一つ一つの言葉を大切にして文章の内容を把握して、大事な言葉を使って端的にまとめること。事実をとらえ、その事実に対して自分の考えや意見をもち、文章に書き表すこと等ができるよう指導していきます。

＜算数では＞

- ・習った事項を活用して自分の考えを分かりやすく書く・説明する場をつくることに加え、友達や先生の考えの意図を読み取り、自分が説明する場を設けることで、見方・考え方の幅を広げていく指導していきます。

